

特集 令和7年度高校生議会を開催！



議会だよりは
このコードからも
ご覧いただけます。

特集 高校生議会	2
所信表明質疑	6
常任委員会の活動	10
一般質問	14
新しい議会構成	23
まちかどレポート	24

令和7年度 西脇市 高校生議会を開催

～西脇市の課題や将来について質問～

8月7日（木）にリハーサル、8月8日（金）に高校生議会本番を開催し、16人の高校生議員（当日は1人欠席）による一般模擬議会を体験することにより、主権者としての権利を理解し、政治や議会への関心を高める機会としました。また、西脇市の課題や将来について考えることを通し、西脇市への愛着と誇りを醸成することを目的としています。



西脇高等学校・西脇工業高等学校・西脇北高等学校から16人の高校生議員が選出されました。



7月22日 第1回ワークショップ in 西脇高等学校



7月28日 第2回ワークショップ in 西脇工業高等学校



高校にて高校生議員と市議会議員でワークショップを行いました。はじめにプロジェクターを使って議会の仕組みや高校生議会の目的等を説明しました。ワークショップでは、高校生議員が日頃感じていることについて、市議会議員と意見交換し、高校生議員が議場で行う一般質問の通告書を作成しました。高校生ならではの着目点には、市議会議員一同改めて考えさせられ、有意義な意見交換となりました。



議員席には高校生議員が着席し、普段、市長や部長が座る席には、市議会議員が着席しました。

質問できることへの期待と緊張感のある雰囲気の中で高校生議会が始まりました。

拍手で迎えられて、高校生議員が入場しました。少し緊張した面持ちですが、堂々と入場しました。



本番終了後は、緊張感も解けて、なごやかに記念撮影を行いました。



中川 隆来議長（西脇）



徳平 珠一議長（西脇北）



大隅 光議長（西脇工）

当日は各校から選出された3人の高校生議員が議長を務めました。

～ 高校生議員が議場に登壇

市議が全力で答弁

- ①テーマ
- ②一言コメント
- ③答弁議員

高校生議員による一般質問のテーマを紹介します。

(答弁議員名は開催日時点)



- ①西脇市AEDマップの作成案について
- ②市議会議員の方が優しく教えてください、楽しくできました。ありがとうございました。
- ③東野敏弘議員

原田 大雅議員 (西脇)



- ①自然を生かして、西脇市への注目を集めたい
- ②2回目の参加で、この時期になると、高校生議会に参加しなければという思いになります。
- ③浅田康子議員

大隅 光議員 (西脇工)



- ①どんなもんだい童子山!
- ②ユニークな議員の皆さんと和気あいあいと意見交換をすることができました。
- ③高瀬 洋議員

森口 碧唯議員 (西脇)



- ①西脇市の子育てをしやすく助け合えるものにするための提案について
- ②このような場で自分も発言できるんだという自信が持てました。
- ③村井正信議員

上田 陽雅議員 (西脇)



- ①スポーツジム及びランニング施設の整備について
- ②とても充実した期間を過ごせました。ありがとうございました。
- ③高瀬 洋議員

坂倉 大賀議員 (西脇工)



- ①クーリングシェルターの見直しについて
- ②議長を体験できたことや、みんなの様々な意見を聞いたことは良い経験になりました。
- ③杉本佳隆議員

中川 隆来議員 (西脇)



- ①めぐりん増便でHappyなまちへ
- ②前に立つ機会が少なく不安でしたが、貴重な経験になりました。
- ③林 晴信議員

廣瀬 梨琴議員 (西脇北)



- ①JR加古川線(西脇～谷川区間)の存続について
- ②市が直面する課題に向き合うことで、市の一員であるという自覚が持てました。
- ③森脇久夫議員

小林 純輝議員 (西脇)



- ①「シアタールーム」設置の可能性について
- ②西脇市について考える良いきっかけになりました。参加して良かったです。
- ③村岡栄紀議員

藤原 来光議員 (西脇工)



- ①バス停の屋根設置について
- ②高校生議会を通して、西脇市と政治について、少しは詳しくなりました。
- ③寺北建樹議員

山田 那菜議員 (西脇)



- ①西脇市・多可町の交流人口の増加を目指して
- ②これからもユーマのあるまちにしていければと思います。
- ③藤原桂造議員

徳平 珠一議員 (西脇北)



- ①播州織を若者に広めるために
- ②不安はありましたが、とても良い経験になりました。
- ③吉井敏恭議員

上山 友鈴議員 (西脇)



- ①子どもたちが自由に遊べる公園・グラウンドの確保について
- ②直球な答弁をしてくださり、とても貴重な体験になりました。
- ③藤原哲也議員

田中 海成議員 (西脇工)



- ①西脇市の企業をPRコンテストでバズらせて盛り上げよう!
- ②ワークショップを通して市議会議員の方と話すことで、楽しく参加することができました。
- ③高瀬弘行議員

中澤帆乃美議員 (西脇)



- ①加古川までの交通インフラの整備
- ②緊張しましたが、最後までやり通すことができました、良かったです。
- ③坂部武美議員

水谷佳椅斗議員 (西脇工)



- 「防災アプリと避難確認カードの製作」の一般質問を予定していましたが、当日は、残念ながら欠席となりました。
- 答弁は藤原秀樹議員の予定でした。

道本 結斗議員 (西脇北)

前年度から各高校と高校生議会本番に向けた調整を行ってきました。高校生や学校関係者の皆様のご協力に感謝いたします。

高校生議員の皆さん、ありがとうございました。

高校生議会の会議録はこちらから→



所信表明に対する質疑



所信表明とは

市長の任期中における市政運営の基本的な考え方をあきらかにしたものです。



所信表明全文

健幸につながる取組を

長谷川 智春

問 健幸運動教室Ni-Coや健幸ポイント事業で、国からの補助金終了後の取組は。また地域や民間の連携先は具体的に決まっているのか。

答 自主財源による事業に転換するため、持続可能な運営方法という視点も重要になる。ハイリスク者への重点的なアプローチの強化や、参加者の希望に応じて自主的な活動を支援していくなどの取組を検討している。現時点で具体的な連携先等は決まっていない。

問 公園の園路や歩道の整備・修復・段差解消などについて、具体的な整備対象は決まっているのか。

答 童子山公園など3公園において園路の更新等の整備を進めている。歩道は都市計画道路西脇上戸田線など3路線で両側歩道整備を進めるほか、天神池周辺の散策道の整備に着手する。



健幸運動教室Ni-Coの様子



録画配信はこちら

健診受診率の向上と認知症予防を

巽 泰

問 特定健診受診率アップに向けて、医療機関との具体的な連携方法は。また、効果的な実施方法とはどのようなものか。

答 例えば年間を通して、がん検診とセットで受診できる体制などが必要と考える。また、国保ウエルネスポイント事業が受診率の向上に効果を上げている。

問 認知症の人が自分らしく暮らすことができる地域づくりなど、総合的な対策を強化とあるが、関係機関との連携はどのような機関を想定しているか。また、相談・支援体制の強化内容とは何か。

答 関係機関は医療機関や地域包括支援センター等の相談支援機関を指す。「チームオレンジにっしー」や「金融と福祉の連携」等、様々な立場の方との連携のもと、地域全体での相談・支援体制を構築したい。



誰もが安心して暮らせる地域に



録画配信はこちら

地域の居場所と給食費支援の動向

藤本 留実

問 子どもや保護者が安心して過ごせる場所、特に子どもにとっての“第3の居場所”づくりが必要である。市長が描く地域の居場所のイメージと実現に向けた考えは。

答 居場所は、子どもが自分の思いを伝えられ、思いを受け止める大人や友達がいる、好きなことができ、居心地が良いと感じられる場所である必要がある。地域団体などが実施する居場所への支援等を進めたい。

問 就学期における経済的な支援について、給食費支援のこれまでの検討経過と、国が進める給食費無償化を踏まえた今後の方向性は。

答 所得基準等の要件を満たす方への支援や、物価高騰対策による保護者負担の軽減を実施している。中学校の給食費無償化も引き続き国に要望を行う。



給食費無償化を目指す



録画配信はこちら

不登校増加への対策は

杉本 佳隆

問 近年、不登校児童生徒が増加する一方で、その理由は家庭環境、学校環境、心身の不調、SNSを含む人間関係など、多様化している。本市として、家から出づらい子ども、「はればれ教室」には参加できる子ども、学校復帰を目指す子どもなど、それぞれの状態に応じた「個別最適な支援」をどのように構築しようとしているのか。

答 不登校児童生徒への支援は、登校という結果だけを目的とせず、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指すことを重視している。家から出づらい子どもには継続的な家庭訪問を行い、はればれ教室では学習支援や社会性の育成を行うなどの支援をしている。今後とも個に応じた支援の充実を図っていきたいと考えている。



楽しい学校生活



録画配信はこちら

市の情報発信とAI対応力は

馬場 智大

問 「市の取組が十分に伝わっていない、という御指摘もいただいた」とあるが、その理由をどう分析し、今後どのような方針で情報発信に取り組むのか。

答 広報紙やホームページ、SNSを活用しているが、これらの媒体は積極的に情報を得ようとする方には届きやすく、そうでない方には届きにくいと分析している。今後は地域に出向いた際に直接お伝えするなど、アナログ的な情報提供も織り交ぜながら、より多くの方に情報が届くように努めたい。

問 AIの活用について言及しているが、具体的にどのような分野で、どのような活用を想定しているのか。

答 市民サービスの向上で問合せ対応や多言語対応、職員の生産性向上で文書作成補助などに活用する。



SNS時代に対応した、市民に伝わる情報発信を目指して



録画配信はこちら

JR加古川線維持・存続に向けて

森脇 久夫

問 JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）の維持・利用促進について今後の具体的な取組は。

答 維持・存続に向けて、日常的な利用の増加を図る必要があると考えており、定期券購入補助や自転車の無償貸出などの支援を引き続き実施し、JR西日本に対し利便性向上の要望をしていく。あわせて、イベントの実施や団体利用等の助成制度により利用者層の拡大を図り、長期的な利用促進につなげていく。

これからの農業の取組

問 農業の生産性向上の具体的な取組は。

答 自動操舵システムやAIを搭載した農業機械といったスマート技術の導入や、農地の集積化に向けた支援を引き続き実施する。また国や県の補助金を活用した農地の効率的活用に取り組んでいきたい。



JR加古川線の維持・利用促進



録画配信はこちら

都市基盤の取組は

浅田 康子

問 良好な空き家の利活用を促進し、賑わいを生み出す新たな店舗の開業者を呼び込む施策と支援は。

答 空き家を活用した店舗の開業支援や、事業スキームの研究に取り組む。また観光物産協会と連携して、開業された店舗をSNSやパンフレットで紹介するなど、新規店舗の定着と地域の活性化を図っていく。

女性活躍の取組は

問 男女が共に輝く社会の実現を目指すための、今期における女性活躍の新たな施策は。

答 令和7年度から女性デジタル人材の育成に取り組んでおり、今後は生成AIについてのセミナーを開催したい。また、男女双方の意識改革、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を知るための取組の継続が重要であるため、着実に取り組んでいく。



デジタルマーケティングセミナースクーリング



録画配信はこちら

西脇北バイパス以北の事業化は

藤原 秀樹

問 国道175号西脇北バイパス以北（残り17キロ）整備の切れ目ない事業化に向け、これまで地元の熱意のもと要望活動などを行ってきた。現在、市長が道路整備促進期成同盟会全国協議会会長であることを千載一遇のチャンスと捉え、大きな一歩を踏み出すには、今まで以上に何が必要なのか。

答 未整備の高規格道路は約6,000キロあるとされる。事業化に向けてはこの約6,000キロがライバル路線となる。社会情勢や地域状況の変化等を敏感に捉え、必要性や整備効果、地元地域の熱意をこれまで以上に国に伝えていくことが必要だと考えている。市議会や地元住民の皆さん、商工会議所等の関係団体の皆さんと一丸となり、事業化されるまで、粘り強くしっかりと思いを伝え続けたい。



国道175号西脇北バイパス



録画配信はこちら

ひと、まち、職場も健幸なまち

寺北 建樹

問 「従業員を身体的・精神的・社会的により良い状態にしていくことが、生産性や創造性の向上につながり、企業価値を高めていくと期待されています」と述べているが、今の西脇市役所の職場環境はそのような状況ではないと間接的によく耳にする。片山市長の認識を問う。

答 間接的に耳にした話に対してコメントをすることはないが、今まで議員からそのような指摘をされたことはない。そのような話を聞いた場合は直接指摘してほしい。今後とも丁寧な説明を心掛けるとともに、職員のエンゲージメントを高めていけるように頑張っていきたい。



日々、ため息



録画配信はこちら

選ばれるまちにするために

林 晴信

問 以前から懸念の国道175号バイパス高架下利用の取組が進んでいない。行政と市民が一体となってどう進めていくのか。

答 まずは占用要件や、対象となる可能性がある土地がどこにどの程度あるのかを広報し、ニーズやアイデアを把握する。次に例えば関係者や団体、行政からなる協議体の発足等も検討したいと考えている。

問 出生数激減の現在、不妊に悩む方への支援は最重要である。国・県任せではない市独自の不妊治療支援、例えば他市で見られる、保険適用自己負担分にさらに上乗せ助成等は考えているか。

答 本市では、保険適用外の不妊検査や不育症治療への助成を実施している。保険適用の上乗せ助成は、拡充策として検討の俎上に載せることを考えている。



バイパス高架下利用でまちづくり

R175
バイパスを
みんなの
資産
にしよう!



録画配信はこちら

加古川水系流域治水の安全確保を

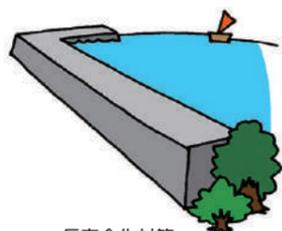
藤原 哲也

問 加古川流域治水プロジェクトにおいて、どのような役割を担い、どのようにハード対策とソフト対策を連携させて市民の安心を提供するのか。

答 「氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策」として下水道による雨水幹線整備、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」として、ハザードマップ策定や防災訓練・防災教育などが位置付けられている。今後もハード対策とソフト対策の両輪を進めていく。

問 水道事業インフラの長寿命化と安定供給において、今後、老朽管の更新事業に必要な財源確保や、水道料金に過度な負担をかけないための見通しと工夫は。

答 「西脇市水道ビジョン・経営戦略」において、老朽管の更新事業の財源についても現在の料金体系による収入で賄うことができるよう計画し、進めている。



長寿命化対策



録画配信はこちら

こどもまんなか・子育て応援

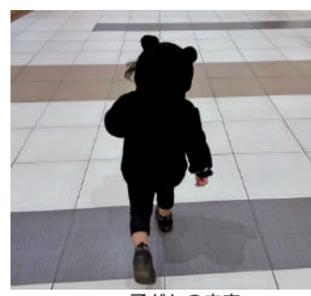
岸本 年裕

問 若者層の流出について、どのような方向性で改善や支援を行っていくのか。

答 若年層の流出抑止に特効薬はないが、企業立地の促進や奨学金の返還支援をはじめとした就労支援、商業や医療など社会に必要なサービスの維持・向上に力を入れ、若者や子育て世代が暮らしやすいと感じられる環境を守っていくことが必要と考えている。

問 消滅可能性自治体からの脱却とは、人口の推移なのか、若者の定着なのか、出生率の増加なのか、どのような状況をイメージしているのか。

答 国全体で人口減少が進む中、長期的に人口を安定させていくためには、少子化の進行抑制、出生率の改善が最も重要な課題ではないかと考えている。



子どもの未来



録画配信はこちら



昨年度に引き続き、12月定例会第1日を「じばさん議会」と銘打って開催しました。地場産業の魅力と長年に渡り培われた匠の技術を内外へアピール！議場を地場産品で装飾し、議員は播州織のネクタイや着物、播州毛鉤のブローチを着用しました。また同日には、西脇市制20周年記念事業の一環として、職員による「播州織を着ようDAY」も開催され、播州織の産地として、その価値を再認識し、行政と議会が一体となり、地場産品の魅力発信を行いました。

北播磨地場産業開発機構、繊維工業技術センター、郷土資料館から播州織の生地等をお借りし、全議員で準備を行いました。北播磨地場産業開発機構の方の力も借りながら、飾り付けました。録画配信もしておりますので、是非ご覧ください。



録画配信はこちら



常任委員会の活動

第110回11月臨時会、第111回12月定例会を開催しました。
各常任委員会で議論した主な内容は、次のとおりです。

11月 補正予算案を可決！

臨時会 予算常任委員会を開催し、令和7年度一般会計補正予算を審査し、全員一致で可決しました。

補正予算で実施する事業

○ふるさと寄附促進事業

ふるさと寄附が当初見込んでいた12億円を上回り推移していることから、寄附者への報償費等を追加で計上する。 **予算 8億円**

○公園整備事業

国道175号西脇北バイパス寺内ランプ周辺地区が特別指定区域に指定されたことに伴い、天神池周辺整備工事を行う。 **予算 4.680万円**

12月 総務産業常任委員会

議案第71号 西脇市部設置条例の一部改正

市の組織体制の見直しとして、一部部局の名称を変更するとともに、所管する業務の移管を行う。

議員 数年前に人事部門と財政部門を別の部に分けた経緯がある中で、今回改めて両部門を統合する理由は。

行政 平成27年度の機構改革では、権限集中を避けるため人事部門と財政部門を分離したが、近年は人件費の増加が続いており、人事と財政を一体的に捉えた運営が必要となっている。
また、DXやAIの活用など、社会情勢や重点課題の変化に柔軟に対応するため、改正する。

反対 寺北 建樹

10月に市長、議員の選挙があることは、4年前からわかっていた。「特別職報酬等審議会」を7月頃から開催し、選挙前に答申を出し、9月議会で審議すべきであった。選挙後に引き上げの議案は、市民が納得しない。

反対 馬場 智大

報酬と議員定数は車の両輪であり、本来セットで議論すべきもの。公開の場におけるその十分な議論を経ない報酬の引き上げは、市民への説明責任と透明性の確保という観点から適切ではないと考え、反対する。

議案第72号 西脇市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部改正

西脇市特別職報酬等審議会の答申に基づき、市長、副市長、教育長の給料及び市議会議員の報酬の額を近隣の北播4市の平均額を上限とし、物価上昇率3%分を引き上げる改定

議員 市長や副市長と議員では役割や責任が大きく異なるにも関わらず、なぜ特別職の給与と議員の報酬に関する条例改正を一括して提案するのか。

行政 特別職報酬等審議会における議論や提出された答申が一括であったことや、これまでから一括提案であった経緯を踏まえ、今回も同様とした。ただし、分割し、議員の報酬改正条例を市議会から提案することも可能である。

議員 本来、報酬額の改定は選挙前に行うべきではなかったのか。

行政 決算状況や近隣自治体の改定状況などを審議会資料に反映させるため、調査や資料調整に時間を要し、その結果、12月議会への提案となった。

賛成 浅田 康子

本議案は、特別職報酬等審議会の答申に基づき特別職の報酬額の改定を行う内容を審議するもので、特別職報酬等審議会の開催時期を議論する議案ではない。答申では物価高騰と賃金上昇によるものとされている。

賛成 森脇 久夫

報酬引き上げの理由と金額については、妥当なものであり賛成。ただし、特別職報酬等審議会が市長・市議会議員選挙を挟んで開催されたことから、市民の目にどう映るかということについての配慮は必要。

議案第97号 西脇市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告による国家公務員の給与引き上げに準じて、市職員の給料月額を平均3.3%、期末手当を0.05か月分引き上げるなどの改正

反対 林 晴信

国家公務員に対する人事院勧告に地方公務員が準じる必要はどこにもない。総務省は民間の給与水準を上回っている地方公共団体にあっては、その適正化を図るために必要な措置を講じることと通知しているだけ。

議案第98号 西脇市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部改正

人事院勧告による国家公務員の給与引き上げに準じて、市長、副市長、教育長及び市議会議員の期末手当を0.05か月分引き上げる改定

議員 今回の改正を行う根拠は。

行政 今回の改正は期末手当の支給月数を改正するものであり、これまでと同様に、人事院勧告に基づく一般職の職員の給与に関する条例改正及び特別職の職員の給与に関する法律の改正に準じて行うものである。

反対 林 晴信

人事院勧告には首長や地方議員のことなど一言も書いていない。地方公務員同様準じる必要はどこにもない。そもそも国会議員でも準じていないのに意味不明といえる。

賛成 森脇 久夫

職員の期末手当は人事院勧告をベースにしたものとなっている。特別職の期末手当は、特別職報酬等審議会の審議対象となっていないため、特別職も人事院勧告をベースに体系化した期末手当は妥当と考え、賛成する。

委員会提出議案第3号

JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書

地方創生を実現させ、災害に強い鉄道ネットワークを将来にわたって維持することは、国の責務であり、鉄道のあり方は、自治体や鉄道事業者任せにするのではなく、国が責任を持って取り組む必要があるため意見書を提出する。

賛成 林 晴信

そもそも議会が望んで特別職報酬等審議会を開催してもらっているものであり、答申を尊重するのは当然である。尊重しないのなら2年に1度の特別職報酬等審議会の開催を止めるべきということになる。

賛成 浅田 康子

人事委員会を持たない自治体が独自で給与水準を決めるのは困難であり、自治体の財政力の違いで職員の給与に差が出る可能性があると考え、人事院勧告に勘案した改正であり賛成する。

反対 馬場 智大

報酬総額は月額と期末手当を一体として判断されるべきもの。判断根拠が分散する決定プロセスは、結果としていずれの根拠の権威をも損ない、市民への説明責任の観点から問題があると考え、反対する。

賛成 高瀬 洋

特別職の期末手当は、多くの自治体と同様に人事院勧告に合わせた額の決定が望ましいと考えており、賛成する。

反対 寺北 建樹

市長等特別職の期末手当（月数）を一般職の職員に準じる法的根拠はない。毎年、上がったたり下がったりするのはなく、任期中の報酬は一定であるべき。「特別職報酬等審議会」で年間の総報酬の答申を求めるべき。

採決の結果、全員一致で可決し、意見書を国へ提出することに決定しました。意見書は右のQRコードからご覧ください。



意見書はこちら

文教民生常任委員会

議案第70号 西脇市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

令和8年度から全国で「こども誰でも通園支援制度」の実施が義務化されることに伴い、市が施設の認可基準を定める必要が生じたことから、条例を制定する。

- 議員** 保育士不足の中、現場の負担が増えないか。
- 行政** 保育士資格がなくても、研修で取得できる「子育て支援員」の資格で対応が可能という職員配置の緩和規定を活用する予定で、保育士の負担増にはつながらない。

予算常任委員会

議案第73号 令和7年度一般会計補正予算(第4号) ナガエツルノゲイトウ防除事業補助金 **48万円**

- 議員** 補助金の対象地域は。
- 行政** 羽安町、野中町、大木町、前島町及び市原町である。

学校施設修繕工事費(中学校費) **650万円**

- 議員** 今年度、天神池温水プールで実施した双葉小学校と比延小学校の水泳指導事業の検証を踏まえ、今後の水泳授業の方向性とプール改修の見直しは。
- 行政** 大規模校では、移動の面で負担が大きいなど完全移行は難しく、近接学校での集約化や共同利用も併せて検討する。プール改修については、学校統合の方向性と併せて検討する。

西脇南中学校区統合小学校改築工事 基本設計・実施設計等業務委託料 **3億円**

- 議員** 重春小学校の建替えに際し、放課後児童クラブの建物をどのように扱うのか。
- 行政** 放課後児童クラブの建物は3棟あり、支障となる可能性がある。今後の児童数の減少を見据え、比較的新しい建物を残しつつ、施設規模が過大にならないよう検討していく。

- 議員** 統合小学校及びそれに伴う学校周辺の道路整備の在り方は。
- 行政** 統合小学校は、西脇南中学校の敷地内ではなく、現重春小学校の敷地での建替えを行う方針である。周辺道路は、狭あいである等、課題となっている箇所について、地域の意見も聴きながら、整備の検討を進めたい。

- 議員** 事業の周知方法は。
- 行政** ホームページや子育て応援アプリでの周知に加え、はびいくサポートセンターと連携し、子育てライフプラン事業や赤ちゃん訪問事業など、説明できる機会を捉え、周知を行う。

こども誰でも通園制度

議案第99号 令和7年度一般会計補正予算(第5号)

- 議員** 給与改定に伴う人件費について、今後もインフレが続く、ますます人件費の増加が予想されるが、どのように対応していくのか。
- 行政** 令和7年度は、国の税収の増加に伴い、地方交付税が増額されると聞いている。人件費の増を賄いきれるものではないため、事業の優先順位付けや不要不急事業の見直しなどが必要である。

1億500万円

物価高対応子育て応援手当支給事業

- 議員** 支給対象者への個別通知の発送が2月中旬の予定だが、もう少し時期を早めることはできないのか。
- 行政** 児童手当や児童扶養手当の定時の支給事業と並行して進めることになり、できる限り早く支給できるよう努めるが、今のところ、2月中旬に個別通知の発送を、3月上旬に支給開始を予定している。

反対 林 晴信

今回の人件費増額で約2億5千万円、昨年度も約3億2千万円弱増嵩している。地方が勝手にやっていることなので、国は交付税で全額みてくれない。結局、市民サービスが削られることになる可能性が高い。

賛成 杉本 佳隆

地方公務員の給与改定に伴う人件費について、人事委員会を持たない本市において、精緻な給与調査を行うことは、時間的・財政的な制約があるため、人事院勧告を一定程度準用することに賛成する。

議案に賛成か!反対か!一目で分かる審議結果

11月臨時会議案審議結果一覧 ●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案第69号	令和7年度一般会計補正予算(第3号)



議案の詳細はこちら

12月定例会議案審議結果一覧 ●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案第70号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第71号	部設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第73号	令和7年度一般会計補正予算(第4号)
議案第74号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第75号	令和7年度市立学校給食センター特別会計補正予算(第2号)
議案第76号	令和7年度公営墓地特別会計補正予算(第1号)
議案第77号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第78号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第79号	令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)
議案第80号	令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第81号	令和7年度病院事業会計補正予算(第1号)
議案第82号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議案第84号	副市長の選任について
議案第85号	監査委員の選任について
議案第86号	公平委員会委員の選任について
議案第88号	市民交流施設の管理に係る指定管理者の指定について
議案第89号	コミュニティセンター西脇区会館の管理に係る指定管理者の指定について
議案第90号	コミュニティセンター日野地区会館の管理に係る指定管理者の指定について
議案第91号	コミュニティセンター重春・野村地区会館の管理に係る指定管理者の指定について
議案第92号	総合福祉センター萩ヶ瀬会館の管理に係る指定管理者の指定について
議案第93号	土づくりセンターの管理に係る指定管理者の指定について
議案第94号	市立北はりま農産物直売所の管理に係る指定管理者の指定について
議案第95号	北はりま田園空間博物館総合案内所の管理に係る指定管理者の指定について
議案第96号	北はりま定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について



議案の詳細はこちら

●賛否の分かれた議案 (○・・・賛成 ×・・・反対)

議案番号	議案名	馬場智大	藤本留実	巽泰	長川智春	藤原秀樹	岸本年裕	藤原哲也	杉本佳隆	森脇久夫	高瀬弘行	吉井敏恭	村岡栄紀	高瀬洋	浅田康子	林晴信	寺北建樹
議案第72号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第83号	名誉市民の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第87号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第97号	市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第98号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議案第99号	令和7年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第100号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第101号	令和7年度市立学校給食センター特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第102号	令和7年度老人保健施設特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第103号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第104号	令和7年度西が丘宅地供給事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第105号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第106号	令和7年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第107号	令和7年度下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第108号	令和7年度病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

(議長は議事進行のため採決には加わりませんが、賛否同数の場合は議長も賛否の表明をします。)



ここが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が自身の考えのもとに提案や課題を行政に投げかけ、市の見解を市長や教育長、部長から聞き、政策討論をする重要な場です。今回は、12人が市民生活にかかわることについて質問や提言を行いました。

テーマは自由
質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めることができます。

制限時間は60分
1人あたりの制限時間は、市長等からの答弁も含めて60分以内です。

ホームページにも掲載
質問項目を事前にホームページに掲載。傍聴者にも配布しています。



猛暑から児童を守るスクールバス導入を

藤原 哲也

録画配信
はこちら



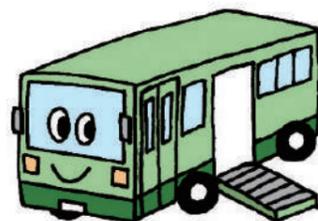
議員 「議会と語ろう会」で、夏場における小学校の下校時の熱中症対策について、猛暑の中、小学生が歩いて下校している状況を心配する声を聞いた。そこで、文教民生常任委員会において、異常な暑さによる児童の熱中症リスクの軽減を目的に、下校時のスクールバス導入について議論したところ、学校教育課から「今後の検討課題としたい」との答弁があった。本市において、スクールバス導入の検討をどのように進めているのか。

行政 スクールバスの導入に関しては、使用するマイクロバスやワゴン車の調達に難し、車両が調達できたとしても、運転手の確保も難しい状況である。さらに車両や運転手が確保できたとしても、継続的な財政負担が生じることなどから、令和8年度の実施は困難な状況にある。また、通学支援を実施する距離や支援対象者の人数、それに伴う運行ルートなど、様々な観点から慎重な検討が必要となる。小中学校の統合時に、開校準備委員会での意見もいただきながら、遠距離通学となる児童

生徒のスクールバスを導入したいと考えている。夏場の熱中症対策については、各学校で行っている措置を基本として、何らかの支援ができないか、さらに検討を重ねていく。

議員 実際に各校区で活動されている見守り隊の方々にも、本市が考えている方向性をしっかり伝えるよう教育長に求める。

行政 この夏の登下校の暑さ対策について、見守り隊の方々にも非常に大きな支援をいただいている。必要な情報提供を行いながら、取組を進めたい。



夏の下校時を、一番安全な時間へ



録画配信
はこちら

童子山公園野鳥ケージの廃止を求める

高瀬 洋



議員 童子山公園の野鳥ケージは鳥の数の増えすぎなどで飼育環境は劣化しており、動物福祉の観点からも緩やかに廃止すべきと考えるが。

行政 野鳥ケージの飼育管理を委託している西脇市動植物生態調査研究グループから、後継者不足により飼育管理を継続していくのは難しいとの意見を伺っている。野鳥ケージの老朽化が進む中、40羽を超える野鳥を飼育していることなどを考慮し、動物福祉の観点から、野鳥がこれ以上増え



ハトやオシドリが飼育されている野鳥ケージ

ないように管理しつつ、野鳥ケージの廃止に向けた検討も含め、今後の在り方を研究する。

配水池跡地の活用に望むこと

議員 童子山公園の排水池跡地の活用に関して、高校生からドッグランにする案などが出ている。高校生が探究学習の一環として、校内でアンケートを取るなど知恵を絞って考えた提案内容であるので、同跡地の活用を検討する際の候補のひとつに加えてもらいたい。

行政 令和7年度の高校生議会後に、自ら探究学習の一環として跡地利用に関するアンケート調査を実施され、出された活用案は、利用者である高校生の視点で感じ取った貴重な御意見であると考えている。また別の機会ではあるが、高校生から「スケートボードができる施設に活用できないか」との提案を受けたこともある。今後の跡地活用に向けて、若い世代の意見も参考にしていくことは大切なことだと考えている。高校生と対話させていただく場を設けていきたいと思う。



録画配信
はこちら

健幸都市・にしわきを目指す取組の見直しは

吉井 敏恭



議員 運動の習慣性や健康への関心喚起の取組は非常に重要である。健幸運動教室N i - C oや健幸ポイント事業について国からも高い評価を得ている。本年度で国の補助金が終了するが、新年度に向けてどのような見直しを考えているのか。

行政 健幸運動教室においては、新規参加者の募集は継続しつつ、一定期間継続して参加した方には、教室から自主活動へ移行していただく方向を検討している。その場合、自主活動に移行された後も健幸ポイント事業には継続して参加できるようにし、運動習慣が途切れない仕組みを維持していく。健幸ポイント事業においては、参加年数に応じたインセンティブの見直しなど、運動習慣の継続促進という点を踏まえながら、持続可能な運営方法を目指して検討している。

歩道の段差解消を

議員 植栽時の想定をはるかに超えて成長した街路樹による車道や歩道の変形が確認できる。居心地がよく歩きたくなる空間づくりには、根上りに

よる歩道段差を解消し、歩道の機能を回復する必要がある。また、良好な状態での街路樹の維持管理には、街路樹の計画的削減を進めることが必要であるが、今後の対応は。

行政 街路樹の維持管理コストが増大する中、通行の支障となる街路樹を中心に5年間で1割程度の削減に取り組んでいる。伐採後の植樹柵については、健幸につながる社会づくりに向けて、歩道の修復・段差解消などを行い、安全で快適な歩行空間を構築することで、居心地がよく歩きたくなる環境づくりを進める。



植樹柵も変形する街路樹による根上がり



消滅可能性自治体からの脱却に向けて

岸本 年裕

録画配信
はこちら



議員 子育て世代は自治体の支援を比較している。本市が選ばれるまちとなるためにも1歳から2歳の子どもへの給付制度の導入を検討すべきと考えるが。

行政 妊娠期から幼児期にかけて、子育て世帯を経済的な面から、継続的に支援していくためには、1歳から2歳にかけての支援を優先して充実していく必要があるのではないかと考えている。市の財政状況、国、県、近隣市町の動向を踏まえながら、給付金を含めた支援施策を検討していく。

議員 今必要なのは、子育て世代がこのまちで生きていこうと思える確かな希望である。人口減少を前提とした縮小均衡ではなく、未来への投資としての子育て支援施策をどのような決意と方向性をもって推進していくのか。

行政 不妊治療や子育てにかかる経済的負担の軽減については、実現に向けて検討していきたい。また、子育てに伴う様々な不安に寄り添うこと、地域全体で子どもや子育てを応援していく気運を醸

成していくことも大切であり、本市のきめ細かな子育て支援施策をさらに充実させていく。

議員 ひよこ保育園の人員費上昇及び物価高騰を踏まえ、補助金の増額を検討すべきと考えるが。

行政 補助金の増額については、人員費の上昇や物価高騰といった社会経済情勢の変化を踏まえつつ、施設が安定的に運営を継続できるよう、実情を丁寧に確認しながら、今後の支援の在り方について適切に対応していく。



子どもに夢を



デジタルノマド誘致による地域の活性化は

杉本 佳隆

録画配信
はこちら



議員 デジタルノマドとは、インターネットを利用してリモートで働きながら、「遊牧民（ノマド）」のように特定の住居を持たず、仕事と生活の拠点を頻繁に変え、様々な場所を転々としながら働くスタイルである。日本人ノマドワーカーは、2022年時点で50万人と推定されており、日本人ノマド層の誘致は、宿泊・飲食、関係人口の創出、さらには将来的な移住や創業、産業連携へとつながる「新しい観光・交流戦略」である。本市において、日本人デジタルノマド層をどのように位置付けているのか。

行政 日本人ノマドワーカーは、定義が曖昧とのことで、実態把握が難しいことから、現時点では研究段階のテーマになると考えている。一方、コロナ禍で普及したリモートワークが、時間や場所を選ばず仕事ができることから、リモートワーカーの誘導は地域の交流人口の増加につながると考える。日本人ノマドワーカーも、リモートワーカーに重なる部分が多いと思うので、市内消費による

経済効果を生み出す、交流人口の創出に必要なターゲット層と考えている。

議員 日本のへそ日時計の丘公園オートキャンプ場には大自然の中にロッジ等の宿泊施設、レストラン、バーベキュー会場が整備されており、日本人デジタルノマド誘致に向けた交流イベントを開催できると考えるが。

行政 日本人デジタルノマドがどのように情報を収集し、何に興味を持ち、滞在先をどうやって決めるのかなどを知る必要がある。国や先進地の取組を参考に情報収集も行いながら、日本人デジタルノマド向けの交流イベントについても研究していきたい。



デジタルノマドワーカー



録画配信
はこちら

学校給食費の現状と無償化に向けて

藤本 留実



議員 令和4年度以降、物価高騰対策として国の臨時交付金等を活用し、学校給食に必要な食材費の増加分を公費で負担していると聞いている。そこでまず、令和7年度の学校給食費予算の全体像と、材料費・食材費の現状は。また、市が現在負担している物価高騰分は、児童・生徒1人当たり月額でどれくらいになるのか。

行政 令和7年度学校給食センター特別会計の当初予算総額は3億3,080万7千円。うち、食材の購入費用に当たる「給食費」が1億6,511万7千円である。物価高騰分は月額で換算すると、小学校低学年で約1,000円、小学校高学年で約1,100円、中学校で約1,300円となる。



学校給食費の無償化を目指す

議員 本市の財政状況から、給食費無償化が容易でないことは認識しているが、まだ実施していない理由について、改めて市民に分かりやすく説明を求める。

行政 本市が独自に小・中学校の給食費無償化を実施するには、現在、市が負担している1億9千万円に加えて、年間で約1億4千万円の負担が必要になる。行政課題が山積する中で、恒久的な財源の確保が大きな課題であり、他の重要な行政サービスの維持・向上にも大きな影響を及ぼすことが想定されることから、給食費の無償化実施には慎重な判断が求められる。

議員 給食費の無償化は、もはや単なる負担軽減ではない。本市の未来を見据え、教育長としての考えは。

行政 小学校における給食費無償化は、国において実施に向けた調整が進められているが、中学校においては恒久的な財源の確保が大きな課題である。今後も早期実現に向けた要望を行っていきたい。



録画配信
はこちら

むすブンの利用実態は

巽 泰



議員 黒田庄地域の主要な移動手段となっている乗合タクシー「むすブン」について、利用者増加に伴う予約の取りにくさや午前中への利用集中といった課題を踏まえ、市が現状をどのように把握・分析しているのか。また、今後の利便性向上に向けた車両体制や予約方法の改善の方法は。

行政 8時台から10時台は医療機関や商業施設へ向かう予約、11時台から13時台はお帰りになる予約が多く、それ以降の時間は比較的空いている。医療機関の診療で午前中の利用が多いことに加え、商業施設なども午前中に用を済ませたいという心理から午前中の利用が多いと分析している。お断

り件数も減少していることから増台は考えていないが、予約システムを変更し、1回の運行で複数人が乗車できる方法を検討する。

GIGAスクール端末の活用状況は

議員 1人1台端末のGIGAスクールについて、家庭利用も含めたフィルタリングやセキュリティ対策の現状、端末の利用ログや学習履歴の把握・活用状況は。また、情報モラル教育や家庭との連携を通じて、安全で効果的なICT活用をどのように進めるのか。

行政 不適切なアプリのインストールを制限するセキュリティや、フィルタリング機能を設定している。教員が学習用アプリの進捗や利用履歴を確認し、個別指導に活用している学校もある。また、教育委員会では児童生徒・保護者向けに端末利用に関するお知らせを配布している。今後、フィルタリング等の技術的な制御に加え、情報活用能力の育成を基盤とする情報教育の推進を一層進めていく。



誰もが安心して使えるむすブン



高齢者の暮らしを支える支援を

高瀬 弘行

録画配信
はこちら



議員 近隣の医療機関では、送迎バスが運行されており、経営評価委員会でも片山院長から高齢者の通院手段について課題認識が示されている。送迎バスの運行は、現在課題となっている外来患者数の増加に対しても一定の効果が期待できるが、病院として、送迎バスの運行について、どのように認識しているか。

行政 西脇病院が送迎バスを運行することはメリットとデメリットの両方があり、現時点では病院独自の送迎バスの運行は難しいと考えるが、交通アクセスの利便性向上は課題と認識しており、関係部署と連携を図りながら利便性向上について研究していきたい。



議員 多くの農業者が困っているのが草刈りである。他市では草刈り支援隊等が結成されている。津万地区の自治協では「草刈隊」の結成が検討されており、西脇市でも草刈り支援隊や市直営の「草刈隊」の結成を早急に検討すべきである。

行政 市直営の「草刈隊」の結成は、活動範囲が広範となることや、人員配置の面からも難しいと考える。他の自治体では、多面的機能支払交付金を活用して非農家も参加する草刈り隊を結成しているところもあり、各集落の情報提供や啓発に努めていきたい。

重点支援地方交付金の活用法は

議員 「おこめ券」を活用するのか、活用しない場合には、どのような支援方法を検討しているのか。

行政 全米販のホームページで確認できる市内の利用可能店舗が5軒であること、購入できる品目に制約があること、自家消費や個人間取引が多いと想定されることなどを踏まえつつ、支援方法を検討する。



医療費の還付申請を簡素化すべき

浅田 康子

録画配信
はこちら



議員 市民生活において医療は誰にとっても欠かすことのできない根幹である。障害のある子どもの医療費が個人負担となる場合があり、医療費の還付申請の手続きは大きな負担である。この手続きの負担を軽減するための施策は。

行政 障害のある児童を対象とした通所での診療は「肢体不自由児通所医療」という国公費負担医療制度の適用により自己負担が生じる。一方、国公費が適用とならない疾病等の場合には、乳幼児等医療やこども医療の適用により、自己負担なしで治療を受けることができる。その差を解消するため、市独自事業として、償還払い申請は必要であるが、自己負担分を無料としてきた。令和8年7月からは、県の制度改正により、償還払い申請の必要もなく、自己負担なしで診療を受けることができ、負担が解消されることになる。

旧庁舎跡地の活用をどのように考えているのか

議員 市有地は市民の共有財産であり重要な資産である。土地の利活用は財政や地域活性化に影響す

る政策課題である。売却予定地である旧庁舎跡地の利活用の考えは。

行政 データセンター用地としての情報提供を行うとともに、企業ニーズの把握に努め地元との調整を行い、今後の土地利用の方向性について検討を進めている。現時点の企業ニーズを見ると、製造業による土地利用の要望が比較的多い。こうした状況を踏まえ、土地利用の方向性を決定したい。また、売却を含む利活用の中長期的な目標やスケジュール等について、市民の皆様への情報提供・共有が重要であると考えている。



市民が目目している旧庁舎跡地



録画配信
はこちら

西脇市版ローカルビジネス創生モデルを

林 晴信



議員 人口減少は市にとって最大の課題で、それに対しては持てる力の総動員が必要である。「人を呼び込む」「人口増の基礎的パイを増やす」ための移住・定住対策への人的配置の考え方は。

行政 ここ数年、空き家バンクの登録件数の増加や、移住希望者一人にかかる移住相談の時間増など、移住コーディネーターの業務が増加している。今後は正規職員の育成や担当者の複数体制など、移住定住・空き家対策推進室の体制充実が必要と考えている。

議員 空き家を活用した「チャレンジショップ」「創業支援拠点」「コワーキングスペース」といった起業の入口となる拠点整備の今後は。

行政 にしわか産業フェスタでお試しチャレンジショップを開設したり、よろず支援拠点が過去に本市で創業等の出張相談会を実施したことがある。空き家等が増えているため、魅力ある物件があれば、コワーキングスペースなどに活用できるか研究していきたい。

議員 西脇市版ローカルビジネス創生モデルとは、移住政策×空き家対策×就労・起業支援という「人を呼ぶ政策」だけではなく、人が残り、根づき、次の世代を育てられる政策である。移住・空き家・仕事を一本の線をつなぎ、「小さく始めて、着実に成果を積み上げる」その第一歩として、本モデルの推進を強く提案するが、市長の所見は。

行政 本市では、空き家を地域資源と捉え、「移住」「定住」だけでなく、店舗等の「起業」にも力を入れている。引き続き、空き家活用、移住支援、就労・起業支援の3つを市内で連携して取り組んでいく。



移住・定住対策
×
空き家対策
×
就労・起業支援

人口減少が全ての課題の根本原因



録画配信
はこちら

中学校部活動の地域展開と夢の実現に向けて

長谷川 智春



議員 西脇市の地域クラブ「西脇へそっ子くらぶ」の運営団体はどこなのか。

行政 地域における活動の運営団体・実施主体は、総合型地域スポーツクラブや文化芸術団体等を想定し、また、教育委員会が運営団体になることも想定している。将来的には、他の団体に運営を担っていただくことも含め、あらゆる可能性を検討していく。

議員 令和10年度の大会・発表会の終了後、完全に地域クラブへ移行する時の1・2年生への対応はどう考えているのか。

行政 保護者向けの入学説明会で、学校部活動の地



実証事業団体陸上競技の様子

域展開に関する事情を伝えることで、在校生の移行又は、入学時からの地域クラブ参加等について、あらかじめ判断しやすいように配慮していく。さらに、市が認定するすべての地域クラブの概要を掲載したパンフレットを小学6年生から中学2年生の全員に配付するほか、体験会などを設け、既存の学校部活動にない多様な種目にも興味・関心が持てる機会を作っていく。

議員 部活動の地域展開に伴い、保護者による送迎、金銭的負担が可能な家庭と難しい家庭がある中、地域クラブに参加できない、自由な時間が増える生徒に悪影響を及ぼすのではないかと。

行政 地域展開を契機として、地域や保護者の方々の力を借り、学校部活動をしていない生徒も含め、あらゆる生徒が多様な選択肢の中から日々の過ごし方を選び、在りたい自分を実現できる環境を目指したいと考えている。また、保護者の経済格差が生徒の体験格差につながらないように、支援措置を検討する。



西脇北バイパス開通と沿線地域活性化へ

馬場 智大

録画配信
はこちら



議員 国道175号西脇北バイパス開通を見据え、道の駅における駐車場不足やキャッシュレス対応など利用環境の課題があるが、今後どのような役割を担う施設として位置づけていくのか。

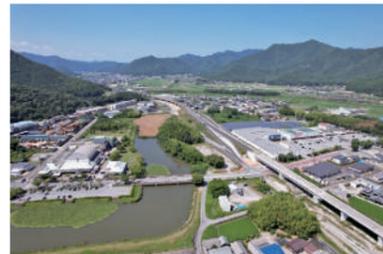
行政 今後も、本市の観光交流施設として、観光情報の発信強化、特産品販売の充実、キャッシュレス決済の促進や駐車場の確保などの利用者の利便性向上を図っていく。

議員 全国的に道の駅の役割が多様化する中、本市においても機能を拡張し、「滞在し、働き、地域とつながる拠点」へと多機能化していく考えはあるのか。

行政 道の駅の多機能化については、アウトドアなどの観光ニーズに対して施設の案内等を行っていたが、拠点化については拡張余地がない中、難しい面もある。移住・定住やワーケーション対応については、今後、当地域でのニーズを高めていく必要があるため、関係機関と連携し、取り組んでいく。

議員 バイパス開通による人や物の流れの変化を通過交通に終わらせず、市民が「良くなった」と実感できる成果につなげるため、即効性のある効果と、企業誘致などの中長期的取組をどのように進めるのか。また、沿線地域の将来像についての考えは。

行政 効果の一例としては、西脇病院と丹波医療センター間の搬送時間が約5分短縮される。また、中長期的には、バイパス整備の有無が製造品出荷額に大きな影響を与えることが分かっており、それらのメリットを生かして企業誘致等に取り組む。今後も東播丹波連絡道路の全線開通に向けて協力をお願いする。



西脇北バイパス・寺内ランプ周辺地域

西脇市制20周年を祝して富良野市議会が来訪

令和7年10月3日から5日まで、西脇市制20周年を祝し、友好都市である北海道富良野市議会の皆さまが西脇市を訪問されました。

滞在中は、市制20周年記念式典にご臨席いただいたほか、TAKAMIOKAKI門柳山工房、株式会社萬乗醸造の酒蔵「Domaine Kurodasho」、岡之山美術館、播州織製品を扱う「Boon Life Base」などの本市の特色ある施設の視察を行いました。

また、意見交換会では、両市議会の議会活動の取組や地域課題について活発な意見交換が行われ、相互理解を深める大変有意義な機会となりました。

今後とも、両市議会の友好と連携を一層深め、地域の発展に向けて取り組んでまいります。



議会だよりモニターを募集します

西脇市議会では、議会だよりの企画、編集等に対する市民の皆様の意見や要望をお伺いし、議会だよりの一層の充実を図るため、「議会だよりモニター」を募集します。モニターにお願いする内容や募集の要件等は、以下のとおりです。



過去の議会だよりは
こちらから

内容

- 発行された議会だよりについて意見や感想を述べること。
- 議会だよりに関するアンケート調査に回答すること。
- モニター連絡会議に出席すること（任期中に1回以上開催）。

募集の要件

- 次の条件をすべて満たす人
- 16歳以上の市民の方
- 議会が行う広報・広聴活動に興味のある方
- 本市の職員でない方

任期 令和8年4月1日から1年間とし、再任は妨げないものとします。

応募締切 令和8年2月27日（金）

募集人数 10名

応募方法 件名に「議会だよりモニター応募」、内容に住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、議会事務局のメールアドレス宛に送信してください。
連絡先：西脇市議会事務局 Eメール gikai@city.nishiwaki.lg.jp

Facebookで情報発信中！

フェイスブックでも市議会の活動を発信しています！ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/nishiwakishigikai>



フェイスブックはこのコードからご覧いただけます。



本会議、委員会等はインターネット中継（ライブ・録画）でもご覧いただけます。



ライブ中継
（本会議）
はこちら



ライブ中継
（委員会等）
はこちら

3月の定例会



ぜひ傍聴にお越しください

日	月	火	水	木	金	土				
2/22	23	10:00 本会議 (第1日)	24	25	26	27	28			
1	2	10:00 本会議 (第2日)	3	10:00 本会議 (第3日)	4	9:30 文教民生 常任委員会	5	9:30 総務産業 常任委員会	6	7
8	9	9:30 予算 常任委員会	10	9:30 予算 常任委員会	11	9:30 予算 常任委員会	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21				
22	23	10:00 本会議 (第4日)	24	10:00 本会議 (第5日)	25	26	27	28		
29	30	31	4/1	2	3	4				

上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

ようこそ！西脇市議会へ

西脇市議会等の取組に対して、全国各地から視察に来られています。



丹波市議会 広報広聴委員会
令和7年8月5日（火）

○広聴活動、議会報告会の取組について



香川県さぬき市議会 議会運営委員会
令和7年8月18日（月）

○議会改革の取組について



赤穂市議会 議会運営委員会
令和7年8月21日（木）

○議会改革の取組について



鳥取県大山町議会一同
令和7年10月30日（木）

○みらいえ、オリナスの施設整備の経緯等について



滋賀県近江八幡市議会 議会運営委員会
議会改革特別委員会

令和8年1月16日（金）

○議会改革の取組について

西脇市での宿泊やお食事などしていただき、ありがたい限りです。

これからも互いに情報交換を行いながら、切磋琢磨してまいります。

議会の新しい構成と役割

《議会の構成》

議長 村岡 栄紀
副議長 岸本 年裕

監査委員 浅田 康子

議会運営委員会

総務産業常任委員会

文教民生常任委員会

予算常任委員会

広報広聴特別委員会

総務産業常任委員会

●所管事項／

市長公室、都市経営部、総務部、産業活力再生部、建設水道部、農業委員会、会計課、選挙管理委員会、監査・公平委員会

写真左から、岸本年裕、浅田康子、馬場智大、長谷川智春、高瀬 洋、寺北建樹
委員長／高瀬弘行 副委員長／杉本佳隆



文教民生常任委員会

●所管事項／

福祉部、くらし安心部、西脇病院、教育委員会

写真左から、林 晴信、吉井敏恭、藤本留実、村岡栄紀、巽 泰、森脇久夫
委員長／藤原秀樹 副委員長／藤原哲也



議会運営委員会

●所管事項／議会の運営に関する事項、議長の諮問に関する事項等の審査

写真左から、寺北建樹、藤原秀樹、吉井敏恭、高瀬弘行
委員長／林 晴信
副委員長／杉本佳隆



予算常任委員会

●所管事項／

予算、補正予算に関する事項等の審査

委員長／高瀬 洋
副委員長／森脇 久夫
委員／馬場 智大、藤本 留実、巽 泰、長谷川智春、藤原 秀樹、岸本 年裕、藤原 哲也、杉本 佳隆、高瀬 弘行、吉井 敏恭、浅田 康子、林 晴信、寺北 建樹

まちかどしレポート

@西脇市西田町

中学生、小学生、年長さんの3兄妹を育てる子育てママ。播州織と出会い、アップサイクル事業を起業。展示販売やワークショップを開催しています。(インスタ見てね!)



アクセサリーやドリームキャッチャーの展示販売

RR(ダブルアール)

代表 藤井 香織さん

Instagramはこちらから→



@RR__DREAMCATCHER

Q: 西脇市へ移住された理由は。

主人の勤務拠点が加東市から西脇市に移転することを機に、両親との同居、二男が小学校に入学するタイミングも考えて2021年4月に家族5人で神戸市西区からUターン。西脇市は、教育環境や生活インフラが整っているだけでなく、地域での子どもの安全・安心な環境づくりの取組に安心しました。私の名前に「織」の文字が入っていることから「織物のまちに住むべくして住んだのね」と亡き祖母の言葉も励みになっています。

Q: *RR*(ダブルアール)のコンセプトは。

「過去から未来へ—想いと願いをつないでいく」
*(アスタリスク)は、「小さな星」を意味するギリシャ語に由来。キラキラ輝きたいとの願いを込めて。そして「RR」には、Rainbow…雨のあとに現れる希望の象徴、Rise…下を向くのではなく顔を上げて生きていく力、そんな意味を重ねました。人と人、想いと時間がやさしくつながっていくこと。それが、*RR*が届けたい世界です。

Q: おすすめの商品は。

オシャレ好きで11年前から作っていたアクセサリーやドリームキャッチャー。Uターンを機に播州織と出会い、廃棄される残糸やハギレを材料とするアップサイクル事業を起業しました。持続可能なものづくりを目指します。

- 「願い」を身にまとう「播州織アクセサリー」
 - 「想い」を飾る「播州織ドリームキャッチャー」
 - 「絆」を形にする多世代で楽しむワークショップ
- ドリームキャッチャー…北アメリカの先住民族オジブワ族に伝わる魔除けのお守りで、悪夢を捕らえ、良い夢だけを届ける効果があると信じられています。日本ではインテリア雑貨やギフトとしても広く使われています。
- 「SDGsを楽しく体験できる場」も定期的に開催しています。

Q: 西脇市に思うことは。

「議会だより」に取り上げていただいたことに感謝しています。少子化が超深刻化の西脇市、今を生きる子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに目を向けていただければ幸いです。



●発行責任者 西脇市議会 議長 村岡 栄紀

●編集/広報広聴特別委員会

委員長	岸本 年裕	副委員長	吉井 敏恭
委員	馬場 智大	委員	巽 泰
〃	藤原 哲也	〃	森脇 久夫
〃	高瀬 弘行	〃	高瀬 洋



発行 西脇市議会

〒677-8511 西脇市下戸田128番地の1
Tel: 0795-22-3111 ✉: gikai@city.nishiwaki.lg.jp